

第1回豊明市地域包括ケア連絡協議会 入退院調整会 議事録

日 時 平成26年8月28日(金) 14時～
場 所 豊明市役所 東館3階 会議室10

[出席委員] 6名 (欠席委員なし)
[オブザーバー] 1名
[傍 聴] なし

あいさつ (原田部長)
委員自己紹介

議 事

- 1 会長・副会長選出
豊明市地域包括ケア連絡協議会設置要綱第5条に基づき、下記のとおり選出
会長 やまだクリニック 山田 彰 先生
- 2 豊明市地域包括ケア連絡協議会と各部会の設置について 資料1
事務局より、資料1に沿って説明
- 3 豊明市民が利用する医療機関等における入退院の現状について 資料2
事務局より、資料2に沿って説明
各委員より、追加資料に沿って現状等説明

(今後の取組みに向けた課題など)

○関係機関のシームレスな関係構築と情報共有に関する課題

- ・在宅⇔入院・入所⇔在宅 における、再受診/再入院時の患者情報等をよりスムーズに把握し対応に生かせるように情報共有したい。
- ・医療依存度高いケース、緊急性の高いケース等ではさらに重要な課題。
- ・保大HPからの退院の大半は病棟から直接ENT。在宅復帰後の実情はほとんど分からない。サポート体制強化が必要。
※病棟Nsへの退院支援に関する教育など、既に保大HP内での取り組みあり。

○各施設空床の効果的活用に関する課題

- ・空床の活用方法と、その情報発信方法について検討。

○医療依存度の高いケース・ターミナルのケースなどの訪問診療の現状等に関する課題

- ・豊明市内には訪問診療のみ実施する診療所はない。かかりつけ医対応の場合もあるが、近隣市町の訪問診療に依頼する場合もある。
- ・保大 HP から退院の場合、中核センター訪看 Ns 等を通して、必要時直接保大病棟 Dr が対応できるメリットもあるが、ケース数が増加しても対応可能か？

○認知症対応

- ・今後ケースの増加が見込まれるため、フォロー体制整備は必要

○患者や家族の認識

- ・退院後の生活に関する具体的なイメージに乏しいこと、また必要な手続き等の情報不足がある
- ・何かあったらすぐに衛生大 HP へ、という市民の考え方も根強い
※市広報での市民向け啓発など実施しているが、さらなる取組みも必要。